

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 人口減少と行政区のあり方について	本年は復興計画８年の最終年度であり、復興の要である住居面の再建はほぼ収束しつつあります。基幹産業の水産加工業や中心商店街の概要も整い復興が終結に向かっている現状で、次の点を伺います。
	（１）復興町づくりに対する高い評価と被災地の中で福島を除いて人口減少率が最大である両面の現実を町長はどのように受け止めていますか。
	（２）住民基本台帳と現実の住居分布が乖離している現実をどのように認識していますか。
	（３）被災者の生活再建がほぼ完了する中で、各行政区の人口の差異が大きくなっているが再編はありますか。
	（質問の相手：町長・担当課長）
2 災害公営住宅について	本年３月末で災害公営住宅859戸が完成しました。住民への説明会を数多く開催し、可能な限り被災者の声を反映することに努力した当局に敬意を表します。しかし現状の空き状況は今後の公営住宅の運営上懸念されます。この貴重な経験を次なる有事の際に生かしていきたいと考え、次の点を伺います。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 学校教育と安全について	す。
	(1) 災害公営住宅完成にあたり後世に伝えるべき成果と反省点がありますか。
	(2) 災害公営住宅の早期分譲が人口定着に繋がると考えますが。
	(3) 今後も全住宅を県住宅供給公社に管理を委託し続けなければなりませんか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	子ども達は未来を担う地域の宝であり本町は歴史的にも教育を重視した政策を実施してきました。仮設住宅等での生活で劣悪だった教育環境も改善され、いよいよ2年後に小中一貫校がスタートするにあたり、次の点を伺います。
	(1) 小学校でのうみねこルール設定の経過と効果は。
	(2) 教育環境も整ってきたので学力、体力とも県並みへの向上を目指すべきと考えますが。
	(3) 子供の安全を守る観点から大川小の津波訴訟の高裁判決をどのように受け止めますか。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)